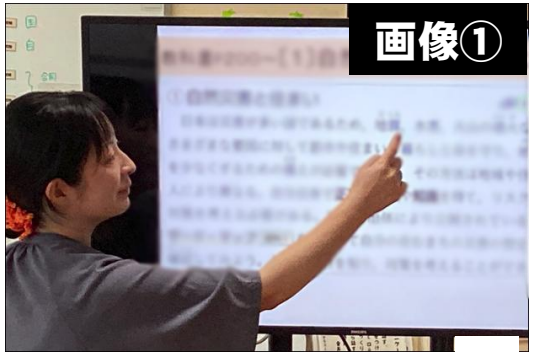
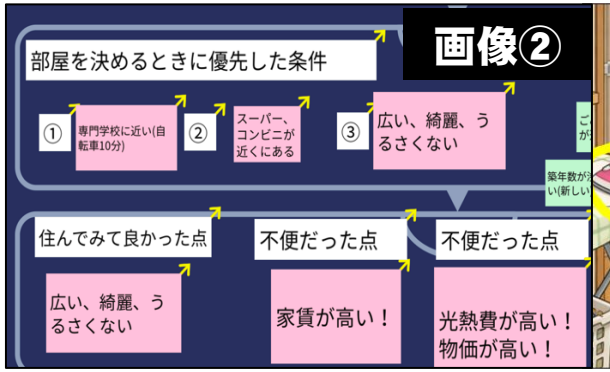
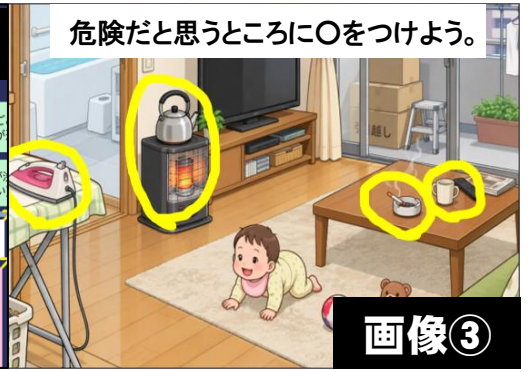
家庭基礎～住生活を考える～

【対象生徒】 聴覚支援学校 高等部１年
【自立活動の項目】健（4）、環（3）、コ（4）
【単元における自立活動との関連】
・卒業後の一人暮らしを想定し、自分の聞こえ方や生活に必要な備えや対策を考え、「私の防災プラン」を作成する。
・災害時の情報取得や援助要請の方法を自分で選択し、周囲に説明できるようにする。









【生徒の様子】
・視覚情報や身近な人の事例を提示したことで「こんな場合があるかも」「自分だったら」と自分の生活に結びつけて考える発言が聞かれた。
・災害時の情報取得について当初「スマートフォンがあればなんとかなる」と捉えていたが、対応困難な状況もあることに気付き、他の方法を模索する様子が見られた。

【指導における配慮事項】
・モニターを活用し、教科書本文、発問、資料等を提示する。音読の場面では、今どこを読んでいるかを指で示す。（画像①）
・意見交換する際は何について話しているかがわかるように、ロイロノートで視覚情報を共有する。（画像②③）
・情報取得に関する知見を広げられるよう、聴覚障害に対応したユニバーサルデザイン例を取り上げる。（画像④）
・他教科等の学習内容（理科、自立活動、避難訓練）と関連させながら、教科横断的に指導する。